



12月 ちとせだより

2023. 12. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

2023年も最終月の12月を迎えました。今年はコロナ禍が明け、本来あるべき人と人との交わりが、幼稚園内でも保育や行事を通じて持てたことを大変嬉しく思っています。また、先日のバザーにおいても保護者の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、4年ぶりに活気あるひと時を過ごすことができました。当日は、とても寒い1日でしたが皆様の熱い思いの中、最後まで無事に終わることができたことを合わせて感謝申し上げます。

12月にもなると日が短くなり、暗くそして寒い毎が続きますが、そんな季節にあって街並みではイルミネーションなど煌びやかに明るい風景を見ることができます。そんな光景を見ると、クリスマスが近づいてきたなと感じる方も多いのではないのでしょうか。キリスト教においてクリスマスは、神様が大切にしている御子イエス様を私たちの世界に贈ってくださった日です。そのような素晴らしい日であるにも関わらず、お生まれになった場所は暗く、寒い、馬小屋であったということが、クリスマスの大切な意味を示しています。明るく煌びやかな世界とは真逆で、貧しく、力弱く生きている者に向けた喜びと希望の光だったのです。そして、イエス様の誕生を真っ先に知らされた羊飼いたちは、まさに社会の底辺にいた貧しい人たちでした。クリスマスは、決して裕福で、お金持ちで、社会的に影響のある人たちにだけに与えられるのではなく、最も小さくされている人たちにも平等に与えられるのです。その喜びを世界中の人たちで分かち合う日が、クリスマスです。戦争や紛争のない平和な世の中になることを願い、祈り、行動を起こしていける人でありたいと思います。

幼稚園では教会の暦よりも少し早く、アドヴェント（待降節・降臨節）を迎え、毎週の礼拝で1本ずつろうそくを灯していき、クリスマスの準備を始めています。年長児は、クリスマスの出来事を伝えるメッセンジャーとしてその役割を担ってくれます。クリスマス礼拝・祝会では、本来のクリスマスの意味を知り、そしてその喜びを分かち合える機会となることを願っています。また、各ご家庭でも素晴らしいクリスマスを迎えられるよう心からお祈りいたします。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
(エフェソ信徒への手紙2章17節)

12月主題 「喜び合う」

聖句 「ひとりの男の子が私たちに与えられた」 (イザヤ書9章5節)